



# 尾張中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT 2017-2018



ロータリー：  
変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

会長：大野東秀  
幹事：富田昭夫  
会報委員長：熊澤勝則

承認日：1984年1月30日  
例会日：毎週水曜日  
例会場：名鉄グランドホテル・CBC自動車学校

事務局：〒481-0004 北名古屋市鹿田坂巻5-1  
TEL:0568(25)4701 FAX:0568(25)4702  
mail:kita2a-owarichuo-rc@rhythm.ocn.ne.jp

## 青少年奉仕月間

2018年5月9日 第1626回 例会  
名鉄グランドホテル

司会 会場委員会委員長 松岡幸彦

点鐘 会長 大野東秀

唱和 ソングリーダー 住川誠一

国歌君が代、奉仕の理想

会長挨拶 会長 大野東秀



新緑の候、皆様方ゴールデンウィークのお疲れもなくお元気でお過ごしでしょうか？本日11時30分より第11回定例理事会が開催され、重要な議案が採択されました。2018～2019年度鈴木会長エレクトより新年度予算組伴い収入・支出の見直しをして欲しいとの要望が出て、以来4回の理事会にて慎重審議を重ねてまいりました。そして本日の理事会にて尾張中央ロータリークラブの年会費を前期・後期それぞれ1万円増額し年32万円とすることを議決いたしました。この金額は5年前に戻ることにあります。その他、会員増強、退会防止に努め、ニコボックスのご理解と支出の見直しを推めてまいります。会員各位のご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

尚、尾張中央ロータリークラブ細則 第6条入会金および会員 第2節を改正するにあたり、第16条改正にて6月6日第2例会にて全会員にお計り致します。

## 第11回理事会報告 幹事 富田昭夫

1. 2018 - 19年度 委員会構成の件  
今年度委員会構成後の入会となります田島

## 本日のお知らせ (5月16日)

### 親睦夜間例会 (18:30 ~)

担当/親睦委員会

会場/名鉄グランドホテル

(1627回)

## 次回のお知らせ (5月23日)

### 卓話

担当/国際奉仕委員会

会場/CBC自動車学校

(1628回)

君と鬼頭君の次年度の所属委員会ですが、田嶋雄君：親睦委員会・ニコボックス委員会、鬼頭光広君：親睦委員会・出席委員会にて承認

2. 年会費の件  
協議の結果、次年度より5年前の会費に戻す案にて承認(年32万円)。クラブ細則に基づき6月6日例会にてクラブ会員皆様の投票を行います。ご協力よろしくお願い致します。
3. 2018 - 19年度 35周年記念例会の件  
日時/2018年12月5日(水)12:00 ~  
場所/名鉄グランドホテル  
35周年実行委員会/委員長：沖野満君、副委員長：魚住尚三君、委員：大野東秀君、鈴木雅貴会長エレクト、松浦正義次期幹事、檜吉次期親睦委員長にて承認
4. アザレアコンサート名義後援の件  
日時/9月2日(日) 午後1時開演  
場所/北名古屋市総合体育館  
主催/北名古屋市知的障害者育成会上記コンサートの名義変更につき承認

5. クラブ事務局の家賃の件  
沖野バストのご協力により次年度より  
55,000円と値下げ案を頂き承認
6. ガバナーナイト登録の件  
出席者／堀尾地区幹事、熊澤君
7. 地区役員及び会長幹事懇談会の件  
日時／6月15日(金) 18:00～  
場所／ホテルナゴヤキャッスル2F  
出席者／西村ガバナー補佐、堀尾地区幹  
事、大野会長、富田幹事
8. 「セルフしかつ祭」の件  
日時／6月3日(日) 午前10時～  
場所／セルフしかつ  
出席者／檜吉社会奉仕委員長
9. 5月30日の例会変更→5月27日  
ゴミゼロ運動参加  
式典出席者／大野会長、檜吉社会奉仕委員  
長、松浦社会奉仕副委員長、富田幹事

## 出席報告

委員長 太田利和

第1626回

会員数：33名 出席数：25名 出席率：86.2%

前々回第1624回 修正出席率：76.9%

メーキャップ：宇田君

## ニコボックス

委員長 今村康宏

大野(東)君 第11回理事役員会ご苦勞様でし  
た。法務多忙。

魚住君 理事会お疲れ様でした。

鈴木君 業務多忙。

赤堀君 何かと忙しく、例会や理事会を欠席し  
お詫びいたします。

大野(眞)君 業務多忙。

太田(利)君 結婚記念ありがとうございました。

沖野君 結婚記念日のお礼

熊澤君 11回目の理事役員会お疲れ様でした。  
ゴールデンウィークはバーベキューなど楽し  
く過ごしました。感謝!

住川君 山笑う好時節となりました。「新緑に  
くもる野山や 夏近き」の句も思われます。

中村君 5月の連休は孫と一緒に一泊旅行がで  
きました。

檜吉君 孫が高校へ少しは慣れた様です。

平野君 結婚記念日の祝福を受けて。

安田君 業務多忙。

松岡君 今週末週と懇親会が続き飲み過ぎです

松浦君 業務多忙

松尾君 業務多忙

## 委員会報告

○社会奉仕委員会 檜吉委員長

5月30日の例会が5月27日のゴミゼロ運動に変  
更。当日は午前9時にピアゴ西春店に集合、  
ベスト着用を。雨天の場合は、市より午前7時  
までに連絡があるため、メールで発信します。

○職業奉仕委員会 瀧本委員長

5月末日メ切の健康診断補助金、現状3名の  
申込みに留まっています。利用者が少ないと  
次年度以降廃止も検討することになるため是  
非ご利用ください。

○ゴルフ会 松尾君

5月16日に愛岐カントリーで4組、堀尾君のみ未  
定。午前8時に現地集合。お楽しみ投票券は受  
付で提出ください。夜例会にて表彰式を行います。

※その他

来期活動方針計画書提出未了の委員長は至急  
提出をお願いします。

## 卓 話

2018 - 19年度地区研修・協議会報告

※内容はHPに掲載しています

第1分科会第2部 宇田君(クラブ管理部門)

第4分科会第2部 熊澤君(国際奉仕部門)

第5分科会第1部 魚住君(青少年奉仕部門)

第6分科会第1部 平野君(R財団部門)



宇田君(クラブ管理部門)



熊澤君(国際奉仕部門)



魚住君(青少年部門)



平野君(R財団部門)



今月のお祝い

### 《第1626回例会 ニコボックス》

寄付会員数	16名
本日の合計額	77,000円
本日までの累計額	1,393,000円

□第1分科会 第2部 クラブ管理部門報告 宇田幸生次期ニコボックス委員長

「ロータリーを楽しみ、会員基盤を強化しましょう！」

【式次第】

- 1 開会の辞 次期地区副幹事 宮田正人氏
- 2 ガバナーエレクト挨拶 村井總一郎氏
- 3 講師紹介 次期地区研修リーダー パストガバナー 加藤陽一氏
- 4 講話 第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 (ARC)  
第2750地区 パストガバナー 水野功様
- 5 閉会の辞 次期地区副幹事 松坂亮太氏

【講話の概要】

- 1 ゾーン再編後の構成等について

第1ゾーン 14地区から9地区へ

第1ゾーンがA (日本のグループ) とB (その他の国) に別れる。

第1ゾーン 3万1140名規模

第2ゾーン 9地区から13地区へ 三重と岐阜が第3ゾーンに移る。

第2ゾーン 3万5338名規模

第3ゾーン 11地区から12地区へ

第3ゾーン 3万5233名規模

※実施は2020年～2021年度の予定 (ロータリー100周年の年)

※ゾーン編成には3万5000の規模が最低必要。

※会員増強目標は3年後10万人。次回ゾーン再編成までに10万5000人を目標

※女性会員比率は日本では5～6%前後、世界は20%以上。当地区は11%程度。

※地区会員の入会前後のセミナーの充実化を目指す。6月の退会者多く、その原因は入会前後の教育とフォロー不足のため。

- 2 会員アンケートに基づく分析 回答数約6割

Q1 クラブが直面する課題

A1 会員高齢化、会員維持、例会運営の苦慮、会員間意識格差、女性会員少ない

Q2 運営上の課題

A2 ロータリーライフを真に楽しめていない、多様性やネットワークの広がりが不足、リーダーシップ不在、研修不足、各クラブとの距離感が遠い。

Q3 ロータリーの魅力は何ですか

A3 ネットワークの広がり、友人仲間、学習成長の機会、ビジネス異業種交流、奉仕活動、例会を楽しむ

※アンケート結果から見たその他の問題

・柔軟性目指す規程導入予定は4割程度で保守的。

・戦略計画への理解は、ある程度理解が約8割

・中核的価値観の優先順位は、親睦と奉仕が70%、多様性30%、高潔性17%、リーダーシップ11%

・戦略委員会設置クラブは約3割に留まる。ビジョン戦略計画のあるクラブは13%、検討中が28%、その期間は3～5年後が全体の9割

・日本ロータリー100周年記念事業については、参加希望は約3割、検討が約4割、情報欲しいは31%、事業では公共イメージの向上を望む企画を求める声が65%、式典をするなら公共イメージの向上を望む声大きい。

・100周年実行委員会について

3つの委員会がある。ビジョンを明確に持つためのビジョン委員会。どのように祝うか

という100周年記念式典実行委員会（記念バッジ制作も）、日本のロータリー組織の連携委員会（会員の浄財で動いている組織が様々有りその横串とする）。

### 3 RI戦略計画が目指すロータリーの姿について

活発なクラブ作りのため、例会出席より奉仕活動を重視。公共イメージの向上のための大きな企画（ローダリーデーの復活等）、より安定した財務状況と高い運営効率の確保。

### 4 日本の現状と課題の共有

・固定化した例会運営、日本ではお昼の例会が9割超えているが世界では朝例会・昼例会・夕方例会・夜間例会とかなり分散。例えば11時から例会として昼食を選択制にするケース。朝例会として会費を安くしているクラブ等。1度議論を。

食事の件では、イギリスの方が食事要否の選択ができないことで問題となったケースもあった。

・奉仕団体として他の団体との差別化をどう図るか。

・単年度制の難しさ。戦略計画等、継続性についての工夫を。パストは終わったのではなく次のはじまりであることの意識を。若い世代と女性比率。若い世代の入りやすい企画工夫を。海外はFBで繋がっていることが多い。女性についても敬遠される方いるが、女性社会進出の方向性にも沿うように。（えびすロータリークラブは女性活躍のクラブなのでメイキャップを）

・情報の活用について

クラブ内部の発信、地区からRIへの発信と情報取得のクラブ内でのシェアを。

クラブと地区の乖離問題の解消を。クラブ地区の戦略計画も推進してください。

### 5 地区クラブはこれからどうするべきか

規程審議会の示すクラブの柔軟性・自由裁量の拡大について、これまで通りとするか、クラブのビジョン作り長期計画を作っていくか、例会運営をどう柔軟にするか等を考えて行動をしていく必要。クラブビジョン作りは、地域社会における存在をどう考えるかが重要。行政人口あたりのロータリー数では、1万人あたりの会員が一番多い地区が北海道。次いで山形。多いと7%位。地域当たりの結びつきを考える一つの指標と考えて欲しい。

### 6 リーダーへのお願い

・会員増強はガバナーやクラブ会長が最も留意すべき事柄。クラブ拡大はガバナーになる前のガバナーエレクト時代から準備が必要。最低2年の準備が必要。

・会員維持退会防止を。6月に特に多い。入会早い段階から行事への積極的な参加促しも必要。米山や青少年交換等、手間暇かかるが参加されると魅力的であり学びにもなる。会員の方を誘導して各プログラムに参加していただく努力を。

・ロータリーファミリー（ローターアクト、インターアクト、米山奨学生）との繋がり確保。将来のロータリー候補との意識を。親睦等の工夫を。公益財団法人米山記念館も来年設立50周年でイベントを企画中のため、寄付のご協力をお願いしたい。

### 7 さいごに

セミナーを通じてアイデア交換等で会員基盤の向上を。

クラブ基盤の強化を図り、3ゾーンの復活を。

□第4分科会 第1部 米山記念奨学部門 次期国際奉仕委員長 熊澤勝則

山田直樹リーダーの挨拶で始まり、寺部保美次期担当ガバナー補佐の米山記念奨学会への思いと意義について話しが有りました。

次に、山田次期米山奨学リーダーの寄附推進（前年度と同じ年6,000円）と、特別寄付金（米山功労者）の協力のお願いが有りました。ついで、アシスタントリーダーより米山奨学生の選考について、世話クラブの役割、カウンセラーの役割についての説明でした。その後、地区委員会としての活動報告が有りました。

□第4分科会 第2部 国際奉仕部門 次期国際奉仕委員長 熊澤勝則

加藤久仁明次期担当ガバナー補佐の挨拶にて国際奉仕の重要性の話しが有り、続いて鈴木宏司次期国際奉仕委員長より今年度の奉仕活動の報告が有りました。特にWFFの収益金より3,000万円をフィリピンケソン市に浄水器、トイレ、学用品、スラム街への教室の設置等、又ラオスのビエンチャン郡に水道施設の設置、保育室の設置及び植樹等の話でした。次に木村次期国際奉仕副委員長より、グローバル補助金を使つての国際奉仕活動の進め方をネパールへの医療活動事業を例にしての事例説明がありました。グローバル補助金は3万ドル～19万ドルの使用が可能で現在5クラブが申請中だそうです。

□第5分科会 第1部 青少年奉仕部門 魚住尚三

次期、青少年奉仕委員長の挨拶で開会し、松前バストガバナー、鈴木ガバナー補佐の挨拶がありました。

以降は各委員長の活動方針説明があり先行で[学友クロスプロモーションの実現]というタイトルで活動方針が述べられました。

これは、地区青少年奉仕関連の4委員会独自の活動に加えて相互交流し活動理解の場として、[青少年フォーラム]を地区大会と同時に開催するものです。

この学友クロスプロモーションの実施によってロータリーファミリー300名ほどの学友が委員会の枠を超え横の交流を盛んにする目的です。

これにより学友同士が横の繋がりを持つことによってそれぞれの青少年事業に対するロータリーの事業を理解してもらつと同時に域内のロータリアンにも地区の青少年育成事業の理解度を高めてもらうことができます。

続いてインターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会・青少年交換委員会の各委員長がたより事業内容の説明と活動方針の発表がありました。

□第6分科会 第1部 ロータリー財団部門 平野弘康

1. 開会の辞 佐々木久直次期地区R財団委員会副委員長

2. 挨拶 熊澤スグ次期南尾張分区ガバナー補佐

3. 紹介 佐々木次期地区R財団委員会副委員長

4. リーダー挨拶

資金推進委員会・補助金委員会・ポリオプラス/VTT委員会・奨学基金平和フェロシップ委員会・資金管理委員会の5小委員会がある。

5. 資金推進について 松田茂治次期地区委員長

①ポリオプラス基金：一人当たり30ドル（必達）用途指定寄附へ

②年次基金：一人当たり150ドル

③恒久基金：各クラブ1名以上（ベネファクター）恒久基金へ

各クラブからR財団日本事務局へ振込ください。

④RCカード：クラブカードの普及（ダイナース）

2017.7.1-2018.3.31 財団寄附額 ロータリーレート104円/\$  
尾張中央クラブ 目標4,800\$ 寄附額4254.72\$ 差額545.28\$  
一人当たり 目標154.84\$ 寄附額137.25\$ 差額17.59\$

6. 補助金について 上野広 次期築委員長

\*事業の執行は原則7月から2月末まで（報告書提出期限は3月末）

\*前年と同じ相手に、前年同様の事業を行わないこと

\*最終報告書に添付する資料に不備がないこと（出納帳、写真画像データ等）

7. ポリオプラス/VTTについて 加藤浩一次期地区副委員長

\*1961.6 日本は旧ソ連からの生ワクチンを子どもたちに1300万人/月接種

\*RCは1985年からポリオプラス活動 今までに110億ドル

\*2017年には21人発症 毎年4億5000万人に予防接種

8. 奨学基金・平和フェロシップについて 長谷川龍伸次期地区委員長

\*グローバル補助金の申請は7月から10月

\*日本人で愛知県在住、愛知県内の大学で語学力の高い人。ロータリアンの子どもはダメ

9. 資金管理について 豊島徳三次期地区委員長・神谷研副委員長

\*特定の団体に継続する事業はダメ

\*寄付金事業や、他団体が主催する事業に相乗りはダメ

\*専用口座、領収書に番号、連絡先は担当者